

(2) 人口減少対策の推進について

人口減少対策方針(仮称)の骨子

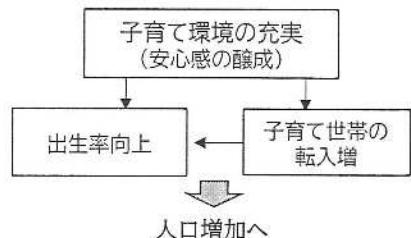
10年先の展望に基づき、4年間(令和5年度から令和8年度)の取組方向を位置づける。

1 人口減少の現状

人口減少の現状、社会経済情勢の変化、本県の強み・弱み

- 人口減少の現状
 - ・人口の状況
 - ・自然減の状況
 - ・社会減の状況 など
- 社会経済情勢の変化
 - ・デジタル技術の進展
 - ・ダイバーシティの進展
 - ・働き方改革の必要性の高まり
 - ・交通ネットワークの整備 など
- 本県の強み
 - ・名古屋・大阪の通勤圏内にある市町はベッドタウンとして転入者が増える可能性
 - ・豊かな観光資源⇒交流人口
 - ・県北中部に産業集積、南部に雄大な自然等 など
- 本県の弱み
 - ・南部は働く場が少ない
 - ・北中部は大都市に比べ本社機能や産業の多様性に乏しい
 - ・県内就職率5割、Uターン就職3割と低い
 - ・交通利便性、娯楽施設の面で劣る など

先進的な取組事例
(流山市、明石市、奈義町から得られる知見)

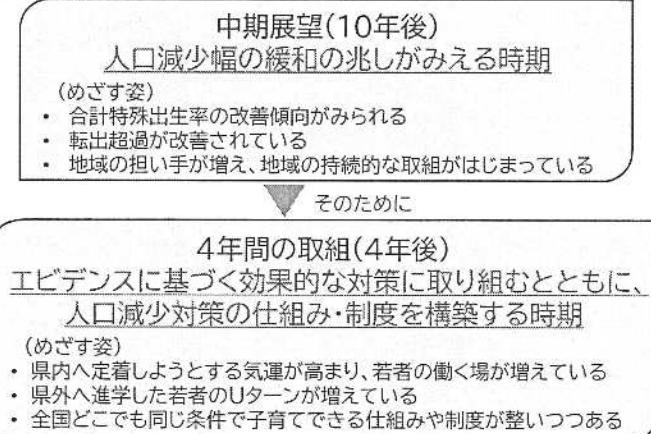


2 人口減少対策の基本的事項

基本的な考え方

- エビデンスに基づく対策の実施
- 結婚や子育ての支援
- 働く場や住まいの確保
- 癒し・賑わい
- デジタル技術の活用
- 多様性の尊重
- 質的な面にも着目した対策
- 人口減少社会への適応
- 国・市町・民間企業等との連携

10年先に向けての展望



モニタリング指標

【人口】

- 基本指標→三重県人口
- 関係指標→人口増減率、年少人口、生産年齢人口、高齢者人口

【自然増減】

- 基本指標→合計特殊出生率
- 関係指標→出生数、婚姻数、15歳から49歳までの女性人口

【社会増減】

- 基本指標→転出超過数
- 関係指標→転出者数、転入者数

3 人口減少対策の具体的な取組方向

自然減対策

【結婚】

- ・みえ出逢いサポートセンターを中心とした出会いの支援
- ・デジタル環境を活用した出会いの支援
- ・結婚を前向きに捉えていない層の実態把握
- ・若者の所得の安定と向上

【妊娠・出産】

- ・ライフデザインの促進
- ・不妊や不育症に悩む人への支援
- ・周産期医療を担う人材の確保

【子育て】

- ・仕事と子育ての両立に向けた職場環境整備等
 - ・保育等の充実
- ・妊娠・出産、子育てにかかる負担の軽減
- ・母子保健サービスの充実
- ・子育てを社会全体で支える仕組みの実現

社会減対策

【定住促進】

- ・若者の働く場の確保
- ・女性の働く職場づくりの支援
- ・賑わいの創出

【流入・Uターン促進】

- ・県外大学卒業生等に対する県内就職促進
- ・移住の促進
- ・関係人口・交流人口の創出
- ・人口還流の促進
- ・コーディネーターの設置

※ 対策として実施する主な取組については、KPIを設定する

人口減少対策に関連する取組

防災・減災、医療・介護、教育、公共交通、産業振興

4 進行管理

- モニタリング指標、KPI及び方針に位置づけた取組に関しては、効果検証を行い、改善につなげる